



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

2019年3月27日（水） U6決勝・関東予選②／ムーンレイクGC鶴舞C
大会結果のお知らせ

＜PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 6歳以下の部決勝＆関東予選②＞

◇3月27日◇千葉・ムーンレイクGC鶴舞C（6歳以下の部男女2007ヤード、パー72ほかカテゴリー別）
◇出場154人◇晴れ

＜6歳以下の部決勝＆関東予選② 概況＞

6歳以下の部男女で、IMG A世界ジュニアゴルフ選手権（7月9～12日、米カリフォルニア州サンディエゴ）の日本代表が決定した。男子は6アンダー66で回った高瀬莉空（愛媛・大町小1年）、女子は1オーバー73の本村彩歌（兵庫・小浜小1年）が代表切符を手にした。

予選では、15～18歳の部男子は藤澤諒（栃木・佐野日大高1年）が3オーバー75でトップとなり、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。同女子は市村杏（長野・軽井沢中3年）が2オーバー74で回って1位通過した。13～14歳の部は男子の佐藤快斗（埼玉・埼玉栄中1年）、女子の小俣柚葉（東京・荻窪中1年）がそれぞれ1位で東日本決勝大会に進出した。

IMG A世界ジュニアゴルフ選手権日本代表は以下の通り。

▽6歳以下男子

【1位】高瀬莉空（愛媛・大町小1年）＝66

▽同女子

【1位】本村彩歌（兵庫・小浜小1年）＝73

＜関東予選② 予選結果＞

東日本決勝大会進出者は以下の通り。＊敬称略

▽15～18歳男子

【1位】藤澤 諒（栃木・佐野日大高1年）＝75

【2位】大友陽介（東京・早稲田実業高2年）＝77

▽同女子

【1位】市村 杏（長野・軽井沢中3年）＝74

【2位】安西美優（群馬・クラーク記念国際高1年）＝76

▽13～14歳男子

【1位】佐藤快斗（埼玉・埼玉栄中1年）＝77

【2位】熊谷地陽（長野・広陵中2年）＝80

【3位】関根東馬（茨城・大洗第一中1年）＝81

▽同女子

【1位】小俣柚葉（東京・荻窪中1年）＝73

【2位】山崎那奈（千葉・流山小6年）＝76

【3位】飯田夏葵（千葉・金杉台中2年）＝79



写真：

上／6歳以下男子 高瀬莉空

下／6歳以下女子 本村彩歌

©IJGA2019

▽11－12歳男子

- 【1位】関 翔汰（東京・押上小6年）＝81
- 【2位】山本咲道（茨城・春日小5年）＝85
- 【3位】宇田川理茶度（東京・上千葉小5年）＝86
- 【4位】齋藤 裕（埼玉・東原小6年）＝87

▽同女子

- 【1位】安西歩美（茨城・つくば東小6年）＝73
- 【2位】須藤みかな（千葉・加茂学園小5年）＝77
- 【3位】岸田想来（東京・鈴ヶ森小5年）＝79
- 【4位】吉田沙羅（群馬・細井小5年）＝83

▽9－10歳男子

- 【1位】山崎暖真（東京・富士見台小3年）＝78
- 【2位】戸村空汰（埼玉・霞ヶ関南小3年）＝80
- 【3位】今屋大雄（東京・月島第三小4年）＝81
- 【4位】沖田 雫（千葉・井野小3年）＝82
- 【5位】片野貫一郎（千葉・松戸東部小3年）＝82
- 【6位】荒木敬太（東京・白金小4年）＝84
- 【7位】比嘉玲央（沖縄・沖縄カトリック小4年）＝85
- 【8位】渡邊日向（栃木・清原東小4年）＝85

▽同女子

- 【1位】五十嵐 凜（東京・碑小4年）＝77
- 【2位】高村仁香（神奈川・森村学園初等部4年）＝77
- 【3位】荒木結衣（東京・白金小4年）＝77
- 【4位】佐藤彩葉（茨城・境小4年）＝78
- 【5位】荻原すいみ（埼玉・明戸小3年）＝79
- 【6位】天田和杏（東京・江原小4年）＝80
- 【7位】菊地かりな（神奈川・北方小4年）＝80
- 【8位】原田 桃（神奈川・鵠洋小4年）＝82

▽7－8歳男子

- 【1位】森 巨希（千葉・みそら小2年）＝78
- 【2位】須藤はんと（千葉・酒井根小1年）＝78
- 【3位】戸高隆世（東京・石神井小1年）＝81

▽同女子

- 【1位】長峰美桜（千葉・北貝塚小2年）＝72
 - 【2位】重原純奈（千葉・幸小2年）＝73
 - 【3位】飯田柚月（千葉・金杉台小2年）＝74
- （注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる
- （注）6歳以下の部は4月以降の進学校、新学年

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 6歳以下の部決勝&関東予選②>

◇6歳以下の部男女◇3月27日◇千葉・ムーンレイクGC鶴舞C（2007ヤード、パー72）

6歳以下の部男女でIMG A世界ジュニアゴルフ選手権（7月9～12日、米カリフォルニア州サンディエゴ）の日本代表が決まった。男子は高瀬莉空（愛媛・大町小1年）が1番から3連続バーディーなどで6アンダー66をマークし、2位に8打差をつけて優勝した。「今日はショットが良かったし、バットが入っておもしろかった」という。両親がゴルフをするので家族で一緒にできると4歳から始めた。ベストスコアをマークしての代表に「ショートゲーム、パターを頑張って練習して世界で優勝する」と意欲を見せた。女子は本村彩歌（兵庫・小浜小1年）が1オーバー73で優勝。12番のバーディーで一時は目標だった4アンダーに達したが、13番でボギーにした後、取り返そうとしてリズムが崩れてそこから5オーバーした。ホールアウト直後は負けたと思って涙を流していたが、後続を1打振り切ったの代表決定を知ると「悔しかった。（世界ジュニアでは）もっといいスコアで上がりたい」と笑顔ものぞいた。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 6歳以下の部決勝&関東予選②>

◇15-18歳の部男子◇3月27日◇千葉・ムーンレイクGC鶴舞C（7115ヤード、パー72）

藤澤諒（栃木・佐野日大高1年）がドライバーに苦しみながらも3オーバー75にまとめ、1位で東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。最近「ドライバーがヒールに当たって飛ばなくなっていた」という不安がこの日も出た。いつもは270ヤードを打つが、250ヤードほどと20ヤード減で「セカンドショットの距離が長くなって」とチャンスを作れず苦しい展開。それでも5番で3メートル、10番で5メートルを入れる2つのパー5での2バーディーもあってなんとかスコアを作った。ともに重点的に練習している100ヤードのショットがバーディーを引き寄せた。東日本決勝大会に向け「強い人たちも出てくる。アプローチ、パットがいいので、パー4でセカンドを寄せてバーディーが取れるようにしたい」と話していた。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 6歳以下の部決勝&関東予選②>

◇15-18歳の部女子◇3月27日◇千葉・ムーンレイクGC鶴舞C（6092ヤード、パー72）

市村杏（長野・軽井沢中3年）が2オーバー74でトップとなり、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進出した。ホールアウトした直後は喜びも半分の表情。「（インスタートで）8番ダブルボギー、9番ボギーの上がりだったんです」という。5番バーディーで1アンダーとなり「2アンダーで上がりたいと思っていたんですけど」と力が入ったのか、終盤崩れた。それでも3番でグリーン手前から20ヤードをチップイン。5番パー5では2打目でグリーン横まで運んでアプローチでバーディーを奪ったことに「今までアプローチは上げて転がす1パターンしかなかったけど、難しいコースだと乗らないことも多くなるので、この1年ぐらいでいろいろなアプローチを練習した。今日のバーディー2つも新しくやっている転がしで寄った」と、練習の成果を見せた。一昨年は東日本決勝大会で代表切符を取れなかった。「今回は戦略的にやりたい。何かあっても途中で切り替えができるようにしたい」とリベンジを目指す。



写真：左／15-18歳男子 藤澤 諒、右／15-18歳女子 市村 杏 ©IJGA2019